



## いざというとき、あなたの周りに 助け合える人は、いますか？

～地域のつながりで安心な暮らしを～

あなたは、「自治会の必要性ってなんだろう？」「自治会に入るメリットってなんだろう？」とと思っていませんか？

近年、地震や集中豪雨などの自然災害で各地に大きな被害が発生しており、そのありさまも多様化・大規模化の傾向を示しています。

近い将来、発生するといわれている南海トラフ地震などの懸念からも、安全・安心への関心が高まっています。

地震によって倒壊した家屋から救出された人のほとんどが、自力または、近隣の人の救助によって助けられたといわれています。

いざというとき、自分の家族を守り、地域で安心して暮らしていけるような社会を構築するためには、地域住民同士が普段から顔の見える関係を築いていくことが大切です。

また、大規模災害発生後の避難生活が長引く場合にも、地域住民が助け合い、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。

先日、西条市連合自治会では、平成26年8月に大規模な土砂災害が発生した広島市安佐

北区大林地区の自治会長にお話を伺うことができました。

平成26年8月20日、次第に激しさを増す雨の中、大林地区の自治会では、「これは、ただ事ではない。早く逃げないと。」と、真夜中2時に近所の人たちに電話を回したそうです。こんな時間に電話をすることは迷惑ではないかとためらう時間帯ですが、自治会活動を通じて、お互いが顔見知りになり、気軽にものを言い合える関係が構築されているからこそ、「みんなで無事に逃げよう。」という声掛けに繋がり、迅速な動きがとれたそうです。

また、避難所では、自治会活動を通じて知り合った若い人たちが「自分たちに出来ることがあったら言ってください。」と自治会長に申し出たそうです。

このお話をしていただいた自治会長からは、「お互いを思いやる地域の絆は、日頃の交流があってこそ。」とアドバイスをいただきました。

あなたは、お互いの顔が見える関係、大切だと思いませんか？

自治会では、防災訓練を通して、いざという時に備えています



総合防災訓練



避難所運営訓練



防災説明会

# ★各地域の自治会活動をご紹介します★

## 国立療養所大島青松園訪問 (飯岡校区連合自治会)

平成28年7月14日(木)に高松市の大島青松園を訪問しました。現在、この園にはハンセン病の後遺症がある60余名の方が生活しており、西条市出身の方もお二人いらっしゃいました。子どもの頃に強制入園させられ、いまだに故郷に帰れないままの状態です。

ご高齢のお二人でしたが私達と交流の時間を取っていただき、当時の苦しかった思いを語ってくれました。また、職員の方が園内の引き取り手のないお骨を収めている納骨堂や中絶された子ども達の鎮魂の碑など案内してくれるなど、人権・同和学習の観点から貴重な経験をさせていただいた実りある一日となりました。お二人のお幸せを故郷西条よりお祈りいたします。



## 伊方発電所施設見学 (大町校区連合自治会)

大町校区連合自治会では、平成28年9月4日(日)に伊方発電所施設見学を実施し、自主防災・防災士・連合自治会役員の43名が参加しました。

まず、ビジターズハウスで原子力発電の仕組みと安全対策についての説明があり、安全対策については福島第一原子力発電所の事故や平成28年4月14日～16日に発生した熊本地方の地震を踏まえた安全対策の実施状況など詳しく説明していただきました。

その後、バスの中から原子力発電所の施設見学を実施しましたが、海からの侵入防止としてすべてフェンスで囲まれ、厳重な警戒態勢が取られていました。

発電所の1号機・2号機の出力が56万6千キロワットであるのに対し、3号機は89万キロワットであり、実際に見学すると施設の大きさに圧倒されました。現在、3号機の再稼働が実施されており、より安全に配慮して稼働されているようですが、我々も今後の電力事情について考えていかなければならないと思います。



## 第98回氷見盆野球大会 (氷見校区連合自治会)

平成28年8月14日(日)と15日(月)の2日間にわたり、第98回目を迎える自治会対抗の親睦野球大会が氷見地区で盛大に開催されました。

熱戦に次ぐ熱戦、手に汗握る展開に参加者はたいへん盛り上がっていました。

夏の風物詩として地域の人々に愛され、継続してきたこの大会も2年後には100回の記念大会を迎えます。今後もこの地域の伝統行事を守り続けたいものです。



## 北条地区秋季演芸大会 (北条連合自治会)

北条地区では、毎年、秋祭りの前夜祭として、演芸大会を開催しています。今年も秋祭り前の平成28年10月6日(木)に多賀公民館にて開催され、カラオケ、民謡、コーラス、楽器演奏など多数の参加者が日頃の練習の成果を披露し、熱演が続きました。

参加資格は特にありません。皆様のご参加をお待ちしております。



## 秋祭りイベント (新町自治会)

新町自治会の祭り実行委員会と愛護班の共催により、恒例の秋祭りイベントを平成28年10月9日(日)に市営住宅集会所前広場で開催しました。このイベントは、秋祭り前の日曜日に地域の子どもと大人のふれあいや交流を深めることを目的として毎年開催しています。

前日からの雨もあがり、天気も回復し、イベント日和に恵まれました。地域の子ども達が大勢参加し、わたがし・フライドポテト・ポップコーン・くじ引きなどの小さなお店屋さんには子どもで賑わいました。

今年のイベントの目玉は、「神(紙)ヒコーキ飛ばし大会」です。集会所で実行委員・愛護班役員に紙ヒコーキの作り方を教わり、完成した紙ヒコーキを飛ばして、滞空時間を競いました。

将来を担う子ども達が生紙ヒコーキのように力強く、粘り強く、大空高く舞い上がり、世界に大きく飛ばたいと欲しているのです。

半日の短い時間でしたが、子ども達にとっては、楽しい一時を過ごすことができたものと思います。役員の方のご苦労さまでした。



## 語り継がれる先人の功績 (徳能自治会)

徳能自治会では、毎年4月29日に徳能村庄屋の渡部権太夫一家5人の慰霊のため建てられた五社霊神において、報恩感謝・五穀豊穡を祈願する祭礼を行っています。

貞享3(1686)年6月、長引く日照りや長雨による凶作で年貢の奉納に苦しんでいる中、渡部権太夫氏は、一人遍路姿で松山藩主に年貢の軽減を直訴し、藩政を誹謗した罪により、打ち首となりました。

平成27年6月28日(日)に徳能瑞巖寺とお墓で330年法要を執り行いましたが、徳能自治会では、地域の声を届け、地域を少しでも良くしようと一人で旅立った渡部権太夫氏に感謝し、今後も学習を通じて地域を思いやる心を語り継ぎ、皆でより良い地域づくりに努めていきたいと思ひます。



## 夏の夜 谷間に響く太鼓の音！ (桜樹地区自治会)

「トーン・トーン・トンカカサン・・・」夏の夜、鞍瀬川の狭い谷合に響く太鼓の音、毎年8月15日に開催される「桜樹地区盆踊り大会」が天候に恵まれ盛大に開催されました。

天正の陣で亡くなった人の霊を供養する踊りとして、この地域に伝わる「トンカカサン」踊り、練習しなくても見よう見まねで太鼓の音に合わせて日の丸扇子を両手に優雅な舞、炭坑節などレトロな踊りを皆で楽しみました。また、普段は子供の声を聞くこともないこの地区も祖父母に連れられ参加した子ども達も踊りの合間の金魚すくい、くじ引き等で大きな声を響かせていました。人口300人程の桜樹地区もこの日ばかりは帰省中の親子連れや高齢者など、約200人が参加し、賑やかな一夜を過ごしました。



## 横峰寺道の除草清掃活動 (大郷自治会)

大郷自治会では、7月に一斉清掃を行った後、続いて60番札所横峰寺へ至る横峰寺道(県道)6kmの除草清掃を行いました。



特に横峰寺道の一部が遍路道として国史跡に指定されるとの報道があり、歩き遍路が多いこの道路を少しでも気持ちよく歩いてもらおうと、大郷地区から湯浪休憩所の間を念入りに行いました。

来年以降も、「おもてなし」の心を持って取り組みたいと考えております。

## おたのもさん作り (北田野西自治会)

北田野西自治会では、3年前から三世代が交流できる行事として「おたのもさん」作りを行っており、今年度は平成28年9月10日(土)に実施しました。

子ども達は、老人クラブの皆さんの指導を受けながら、赤、黄、緑、白の4色を組み合わせて、人形、動物、果物、魚などの団子細工を上手に作り、子どもと高齢者との交流が図られた有意義な行事となりました。



## ★西条市連合自治会の取り組み★

### 「西条市における自治会加入促進に関する協定」を締結しました

平成28年3月24日(木)に西条市連合自治会、西条市、西条宅建協会、周桑宅建協会の四者で「西条市における自治会加入促進に関する協定」を締結しました。この協定によって、西条宅建協会と周桑宅建協会の会員である不動産会社の店舗などにおいて、新規転入者や住宅購入者などに対し、自治会加入の案内チラシを配布するなど、自治会加入への働きかけを行っていただけることになりました。



### 視察研修

期日 平成28年11月24日(木)～11月25日(金)  
視察先 大林地区連合自治会 (広島市安佐北区)

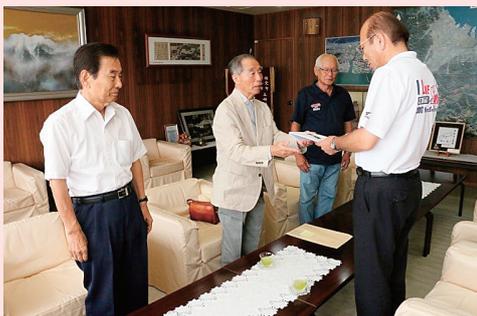
西条市連合自治会の視察研修として、平成26年8月に大規模な土砂災害のあった広島市安佐北区を訪れ、大林地区連合自治会長の坊聴彦さんと大林学区自主防災連合会長の山本雅範さんに災害当時のお話を伺いました。大林地区の被害状況、災害発生からの状況や問題点、ボランティアと地域の防犯、土砂災害後の活動について等、貴重な体験談を聞くことができました。研修の最後に、大規模災害に立ち向かうために大切なことは、「自らの命、自らの地域は、自分が守る気概」というお言葉をいただき、あらためて自助と共助の重要性を認識した研修となりました。



### 熊本地震被災地へ義援金をお届けしました

平成28年8月25日(木)に西条市連合自治会が熊本地震の被災地を支援するため、各自治会に呼びかけて募った義援金262万6,126円を市に寄託いたしました。

義援金募集活動にご尽力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。



### 編集後記

会報「じちかい」第11号をお届けします。

広く住民の皆さまにお読みいただき、自治会活動について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、この機会に、自治会未加入の皆様も、明るく住みよいふるさとづくりのため、自治会へご加入いただきますようお願いいたします。

<編集>西条市連合自治会広報部

西条市連合自治会事務局(西条市役所市民生活課内)

TEL 0897-56-5151(内線2461)